

田中宏道教授 略歴・主要著作目録

研究業績目録

(A) 論文

- (1) 「恐慌論における固定資本の役割について」立命館大学経済学研究科修士論文，1972年3月
- (2) 「第二次大戦後の米国における産業循環の法則と各局面の形態について」『立命館経済学』23巻5・6号，1975年2月
- (3) 「ヒルファディングの『金融資本論』の背景と金融資本概念について」『立命館経済学』25巻4号，1976年10月
- (4) 「全般的危機論の検討」『立命館経済学』30巻1号，1981年4月
- (5) 「我国の独占資本主義論・国家独占資本主義論における危機把握について(1)」『立命館経済学』33巻1号，1984年4月
- (6) 「松下電器グループの生産活動の地域的展開について」『立命館大学人文科学研究所紀要』40号，1985年3月
- (7) 「杉本昭七教授の危機把握の方法について」『立命館経済学』36巻4・5号，1987年12月
- (8) 「北原勇教授の危機把握の方法について」『立命館経済学』37巻6号，1989年2月
- (9) 「国家独占資本主義論における独占資本の構造把握について」『立命館経済学』39巻6号，1991年2月
- (10) 「井上・宇佐美教授の国家独占資本主義論における危機把握の方法について」『立命館経済学』41巻1号，1993年1月

学』40巻4号，1991年10月

- (11) 「電機産業における競争形態の研究（その1） 電機産業研究の現状」『立命館経済学』40巻6号，1992年2月
- (12) 「電機産業における競争形態の研究（その2） 主要電機企業の事業の変遷と競争形態」『立命館経済学』41巻4号，1992年10月
- (13) 「トマス・モア『ユートピア』における『自由』と『平等』」『立命館経済学』44巻3号，1995年8月

(B) 著書

- (1) 小檜山政克他との共著『現代の経済原論』新評論，1986年
第7章 国家独占資本主義の成立，第8章 国家独占資本主義の基本的特徴とその機構，
第9章 金融資本の国家機構利用の目的と各国の特徴，第10章 国家独占資本主義のもと
での社会構造の変化と階級関係
- (2) 角田修一編『社会経済学』第5章 巨大企業と独占，大月書店，2003年